

絶対感動 北海道

中富良野

Cafe' ほわいとすとーぶ

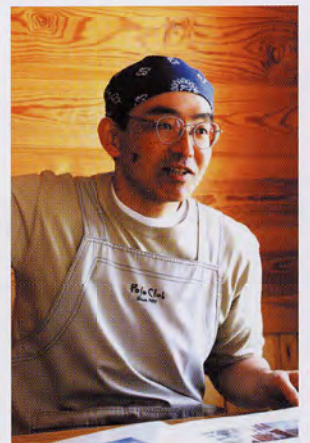
一面のラベンダー畑が迎える
フォトギャラリーを兼ねたカフェ

家族4人でセルフビルドした
自由設計のキットログ

夏になるとラベンダー一色に染まる花の町、中富良野。町を貫く国道237号線から少し脇に入ったところ、十勝岳連峰を一望する田園地帯に、赤い屋根のログハウスがぼつんと建っている。カフェ「ほわいとすとーぶ」は家族4人でセルフビルドした大きな角ログの家。オリジナルカラーやパスタ、ホームメイドのケーキが自慢のアットホームなカフェだ。店内の壁面にはオーナーの下田さんが撮影した富良野の風景写真が飾られている。家の前にはラベンダー畑が広がり、秋はコスモスが周囲を彩り鮮やかに染め上げる。

下田さんは美瑛町生まれ。高校卒業後に東京へ出たが、富良野の自然の美しさを都会で実感して2年で戻り、地元で再就職した。下田さんの趣味はツーリングと風景写真の撮影。富良野は風景写真を狙うカメラマンにとって、これ以上ないほどの自然にあふれている。作品が増えれば増えるほど、写真を展示するギャラリーを兼ねたカフェの建設が下田さんの夢になった。

下田さんは12年間のサラリーマン生活を経て、夢だったログハウス建築に着手。木工作业にも興味があった下田さんはセルフ



Shop Data

「Cafe' ほわいとすとーぶ」

■中富良野町字中富良野東1線北6号

■Tel.0167-44-4680

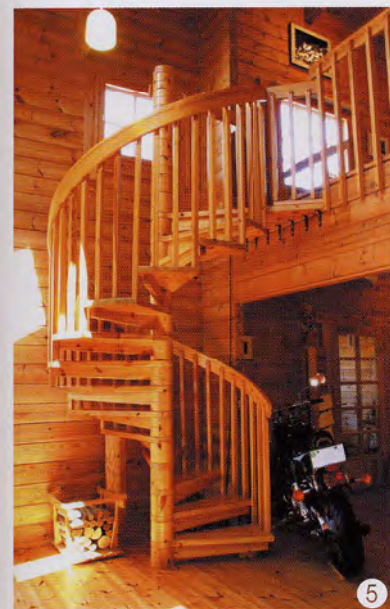
■営業/10:30~19:00

■不定休(冬期は要確認)

<http://www7.ocn.ne.jp/~ezorisu/>



1



5



3



4



2



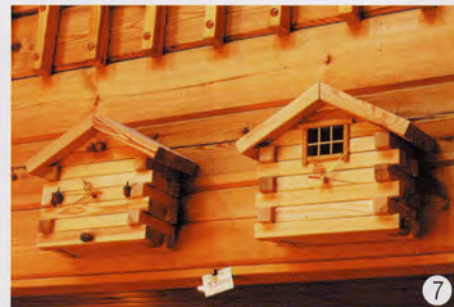
9



6



8



7

- ① ログハウスの周囲は見渡す限りの田園風景が広がる。
- ② 店内は木の温もりがいっぱい。昼と夜では別の表情になる。
- ③ 壁にはオーナー撮影の写真が整然と飾られている。
- ④ オーナー愛用のカメラもインテリアのひとつとして展示。
- ⑤ ロフトへ通じるフィンランド製の木製螺旋階段。ロフトはフォトギャラリーになっている。
- ⑥ 入口に置かれた愛用のバイクは昭和62年製のもの。
- ⑦ ログに使うダボを利用して手作りした時計。
- ⑧ とろりとした食感のホワイトチーズケーキ300円と紅茶各種450円。ケーキは奥さんの担当ですべてホームメイド。
- ⑨ 店のシンボルのホワイトストープはヨツツール製。

ビルドを選択した。1人で建てるわけではなく、奥さんやご両親という強い味方もいた。メーカーは雑誌で見つけたTALLOイーターナシヨナルの自由設計のキットログを選んだ。カフェの営業に最適な、見晴らしがよくて国道から近い土地も知り合いから紹介してもらった。着工は1998年の春。最初に運ばれてきた部材の多さを見て「果たしていつ終わるのやら。セルフビルドは無謀だったかも」と思ったという。完成まで約1年。下田さんは「ログの反りの矯正や重い建具の運搬など苦労した点はたくさんあるけど、今思えば意外と早く終わってたかなと思う」と振り返る。

店舗と住居兼用の大きなログハウス。庭には広大なラベンダー畑を作った。完成後はセトリングの大きな音に「これがセトリングの音か」とワクワクドキドキしていたという。フィンランドパインの角ログは端正ですっきりとした表情。赤い屋根が十勝連峰の山並みによく映える。店内で最初に訪れる人を迎えるのは、店のシンボルの白い薪ストーブ。角ログの平らな壁が、下田さんの写真を引き立てている。








オーナー・下田豊さんの フォト・ギャラリー

店内の壁には花や動物、野鳥、風景などの作品がズラリ。どの写真もシャッターチャンスを迎えるまでに膨大な時間と労力がかかっている。写真はポストカードにもなっている。

ほわいと すとーぶの セルフビルド 建築日記



15
9/11
家の周囲は一面のコスモス。完成のように見えるが内部はまだまだこれから。



10
7/10
2階部分もほぼ組み上がった。足場がどんどのびていく。



5
6/9
部材をきれいに物置小屋へ。木口にマジックで品番を書きおいた。



16
10/17
デッキに塗装をかける奥さん。気温がぐっと下がり、はや晩秋の気配。



11
8/11
これが屋根部分の最後のログのピース。これで組み上げは完成。



6
6/11
記念すべき1本目のログの施工。これは基礎の上の1段目のハーフログ。



1
1998年 4/21
基礎工事の石を敷き終わった所。まん中で指を指しているのは下田豊さん。



17
10/17
キットの螺旋階段取り付け。まず最初の踏み板をビス止める。



12
8/12
屋根の垂木を取り付け。かなり高所の作業で足がふるえそう。



7
6/11
お父さんも木植でたたく。慣れた手つきは棟梁の風格。



2
5/12
膨大な資材を搬入するため、ログハウスより先にまず資材物置小屋を建築。



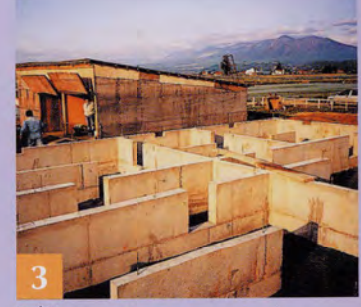
18
1999年5月
念願のホワイトストーブ完成。石張りはすべてご主人の手による。



13
8/21
野地板を貼り、防水シート、そして赤いタンを貼ると家らしい表情が出る。



8
6/25
6段目の組み上げが完了、夫婦で記念撮影。足場も組み上がった。



3
5/21
基礎の土間コン完成。基礎工事は専門業者にまかせた。後は荷物を待つのみ。



19
5/24
長い冬を越してついに完成、オープン。アーチに since 1999 と書いた。



14
8/23
室内作業へ。防寒対策にグラスウールをたっぷり敷くお父さんとお母さん。



9
6/28
木植を振り下ろす主人。ログの反りとの戦いだ。周囲は一面の田園風景。



4
5/28
40フィートのコンテナで部材到着。品番をみんなでチェックしていく。